

てんかんの症状は「けいれん」だけではありません。 こんな症状ありませんか？

てんかんは「けいれん」以外にも多彩な症状を示す疾患です。

本資材は通常の生活のなかで見逃されがちな

てんかんの症状を紹介するためのものです。

中面のシートを切り離して患者さんにお渡しし、

てんかん症状のチェックにお役立てください。



てんかん診断では、小さい発作が決め手になります

財団法人広南会広南病院 病院長・東北大学 名誉教授

中里 信和 先生

「てんかん」で真っ先に思い浮かべるのは、ガクガク体をふるわせて倒れる全身けいれんではないでしょうか。しかし、この強直間代発作は、てんかん発作全体では23%程度¹⁾であり、もっと小さい発作が数でははるかに多いのです。

てんかん発作では異常興奮が始まる脳の部位によって、運動、感覚、感情、記憶、意識などの様々な症状を呈します。発作初期の症状は、小さくて気づかれにくいことが多いのですが、てんかんの診断とその後の治療においては、なるべく小さい最初の症状を見つけることが大切です。

小さい発作のなかには、周囲の人はまったく気づかず、本人だけが不思議に感じるような症状もあります。中程度の発作になると、逆に本人はまったく気づかず覚えていませんが、周囲の人には不思議に見えるような症状もあります。

全身けいれんだけでは、てんかん発作なのか、てんかん以外の原因による発作なのかを区別できません。てんかんだとしても、どのタイプのてんかんなのかは全身けいれんだけでは診断がつかません。

診断のカギを握る小さい発作は、何百種類もあります。日常診療のなかで医師が全部を聞き出すのは難しいでしょう。そこで、患者さんやご家族が小さい発作に気づくように、代表的な発作を本資材にまとめました。

本資材は、できれば患者さんや家族にお渡しいただき、小さい発作の発見に役立つことを願っています。

てんかんの症状は「けいれん」だけではありません。

こんな症状ありませんか？

監修 ● 財団法人広南会広南病院 病院長・東北大学 名誉教授 中里 信和 先生

A 本人の記憶はないが、まわりの人がビックリする発作



ぼんやりと一点を見つめるように、動作が停止する



無意識に、一方の手をモゾモゾ動かし、もう片方の手は固まった状態



口(モグモグさせる)や舌・唇(クチャクチャ鳴らす)を無意識に動かす

B 本人だけが気づくが、まわりの人には気づかれない発作



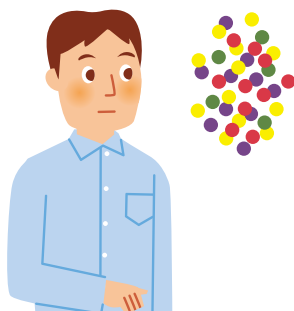
ムカムカと、みぞおちから前胸部にこみあげる感覚



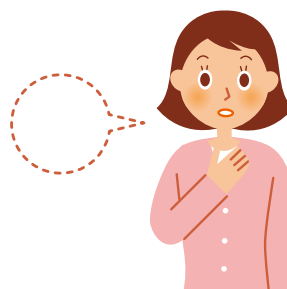
恐怖感、淋しい気持ち、悲しい気持ちなどの不思議な感情



聞こえるはずのない音(人の声や、音楽など)が聞こえる



見えるはずのないもの(光の点滅など)が見える



意識があるのに、言葉が使えない(話せない、聞いても理解できない)

ここで紹介したてんかん症状以外にも、てんかんの症状は数多くあります。
気になる症状があらわれた場合には医師にご相談ください。

てんかんとは？

てんかんとは脳の神経細胞が過剰に興奮することにより、発作が繰り返して起こる慢性の疾患です。発症は小児と高齢者で多いことが知られていますが、全年代で発症が認められています。また、国内における患者数は100万人程度と推定されており、決して珍しい疾患ではありません。

一生のうちに単発の発作を起こすことは珍しくありませんが、単発の発作だけでは、てんかんを発病したことにはなりません。繰り返し発作を起こす患者さん、もしくは繰り返し発作を起こす可能性が高いと判断される患者さんがてんかと診断されます。また、繰り返し起こる発作は毎回同じ症状が起こります。1人の患者さんに複数の発作型が見られることもあります、それぞれの発作型で症状はかなり一定であることが多いことが知られています。

てんかんのこのような特徴をよく理解し、てんかんが疑われるような症状があらわれた場合には早期に医師に相談することが、てんかんのより良い治療のためには重要です。

気づかれにくいてんかんの症状

てんかん発作と聞くと多くの方は、ガクガクとけいれんを起こして意識を失い倒れる発作をイメージされると思います。しかしこの発作は「強直間代発作」と呼ばれ、数多くあるてんかん発作全体のなかのほんの一部に過ぎず、けいれんのように気づかれやすい症状があれば、気づかれにくく、他の病気の症状と区別が難しいものもあります。

下記に、てんかんとして気づかれにくい症状で代表的なものを紹介しているので、このような症状が繰り返しあらわれる場合は積極的に医師に相談してください。

またてんかんの正確な診断のためには、発作があらわれた時の状況の聴取(問診)が非常に有効です。患者さんやそのご家族が、てんかんの疑わしい症状を把握し、その時の状況を詳しく記録できることはてんかんの正確な診断のためには非常に重要です。

疑わしい症状のチェックや、医師に相談する際の参考としてこのシートを活用していただければ幸いです。

【気づかれにくいてんかん発作の代表的な症状】

A 本人の記憶はないが、まわりの人がビックリする発作

A1) ぼんやりと一点を見つめるように、動作が停止する

A2) 無意識に、一方の手をモゾモゾ動かし、もう片方の手は固まった状態

A3) 口(モグモグさせる)や舌・唇(クチャクチャ鳴らす)を無意識に動かす

注) 突然に始まり、数分間続き、突然に戻ります。

注) 発作のない時は、脳の働きは原則として正常です。

B 本人だけが気づくが、まわりの人には気づかれない発作

B1) ムカムカと、みぞおちから前胸部にこみあげる感覚

B2) 恐怖感、淋しい気持ち、悲しい気持ちなどの不思議な感情

B3) 聞こえるはずのない音(人の声や、音楽など)が聞こえる

B4) 見えるはずのないもの(光の点滅など)が見える

B5) 意識があるのに、言葉が使えない(話せない、聞いても理解できない)

注) 突然に始まり、数秒から数分間続き、突然に戻ります。

注) いつも同じ症状を繰り返すことが多く、何種類もの症状がでるのは稀です。

